

科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費	
	事業名	広域常備消防費					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	764,725,000 円 (+39,395,000 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	764,725,000 円
主管	市民一人当たりの決算額	11,061 円 (一般財源等ベース 11,061 円)		単位決算額	258,004 円 (出動件数 2,964 件)		
危 機 管 理 課	1 事業目的						
	消防に関する事務を尾張中部広域圏で行うため、清須市、北名古屋市及び豊山町で構成する西春日井広域事務組合へ、当該組規約で定める応分の負担金を支出する。						
	2 事業内容						
	西春日井広域事務組規約第8条の規定により、西春日井広域事務組合へ負担金を支出した。						
	(1) 西春日井広域事務組合消防負担金						
	ア 負担割合						
			清須市	北名古屋市	豊山町		
			40.92%	43.99%	15.09%		
	イ 出動件数						
			区 分	件 数			
		火災出動	23 件				
		うち清須市	7 件				
		救急出動	7,041 件				
		うち清須市	2,957 件				
ウ 支出科目							
		区 分	内 容	事業費			
		負担金、補助及び交付金	西春日井広域事務組合消防負担金	764,703,000 円			
(2) 西春日井広域事務組合権限移譲分担金							
ア 負担割合							
西春日井広域事務組規約第3条第4号に掲げる事務の処理に要する経費として、愛知県から組合市町に交付される権限移譲交付金の額							
イ 支出科目							
		区 分	内 容	事業費			
		負担金、補助及び交付金	西春日井広域事務組合権限移譲分担金	22,000 円			
3 事業成果							
当該負担金の支出により、消防組織法で定める市町村の消防責任及び消防機関の設置義務を果たし、市民の生命、身体及び財産を火災等から保護することができた。							

科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 消防施設費	
	事業名	消防施設費					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	10,659,479 円 (+1,826,873 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	10,659,479 円
主管	市民一人当たりの決算額	154 円 (一般財源等ベース 154 円)		単位決算額	888,290 円 (分団 12 分団)		
危 機 管 理 課	1 事業目的 消防活動を行う上で必要とされる消防団詰所、消防水利などの関係施設を良好に管理し、火災時における対応の万全を期する。						
	2 事業内容						
	(1) 消防団詰所管理費 消防団の活動拠点となる消防団詰所を良好に管理した。						
	ア 支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	需用費		消耗品費、電気・ガス・上下水道料金及び修繕料		1,359,789 円		
	役務費		通信運搬費、浄化槽清掃手数料、浄化槽法定検査手数料及び火災保険料		277,035 円		
	委託料		浄化槽保守点検業務及び清洲分団詰所ホースタワー保守点検業務		60,280 円		
	使用料及び賃借料		清洲分団詰所土地借上料及びNHK放送受信料		1,773,701 円		
	工事請負費		エアコン設置工事		238,700 円		
(2) 防火水槽等管理費							
ア 防火水槽 消防水利の増強を図り、市民生活の安全を確保するための防火水槽（91か所）を良好に管理した。							
イ 消火栓 消火栓を管理する清須市水道事業（125か所）及び名古屋市上下水道局（1,020か所）に対して、維持管理費などの負担金を支出した。							
ウ 支出科目							
区 分		内 容		事業費			
委託料		防火水槽草刈業務など		128,920 円			
使用料及び賃借料		防火水槽土地借上料		1,167,254 円			
工事請負費		消火栓区画線工事など		91,300 円			
負担金、補助及び交付金		清須市水道事業負担金		362,500 円			
		名古屋市上下水道局負担金		5,200,000 円			
3 事業成果 適切に消防施設を維持することにより、火災発生時の諸活動を円滑に行うことができた。							

科目	款	09 消防費		項	01 消防費		目	03 消防施設費																					
	事業名	消防車両費																											
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳																											
	1,913,728 円 (+24,576 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等																						
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	1,913,728 円																						
主管	市民一人当たり の決算額	28 円 (一般財源等ベース 28 円)		単位決算額	159,477 円 (分団 12 分団)																								
危機 管理 課	1 事業目的																												
	さまざまな災害現場での十分な対応を行うため、消防団詰所に配置している消防車両を適正に管理、整備する。																												
	2 事業内容																												
	(1) 消防車両管理費																												
	市消防団に消防車両 12 台を配置し、適正に管理した。																												
	ア 消防車両の配置状況																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>台 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西枇杷島分団</td> <td>CD-I 型</td> <td>3 台</td> </tr> <tr> <td>清洲分団</td> <td>CD-I 型</td> <td>3 台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">新川分団</td> <td>CD-I 型</td> <td>3 台</td> </tr> <tr> <td>救助資機材搭載型小型ポンプ積載車</td> <td>1 台</td> </tr> <tr> <td>春日分団</td> <td>CD-I 型</td> <td>2 台</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>12 台</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	内 容	台 数	西枇杷島分団	CD-I 型	3 台	清洲分団	CD-I 型	3 台	新川分団	CD-I 型	3 台	救助資機材搭載型小型ポンプ積載車	1 台	春日分団	CD-I 型	2 台	合 計		12 台
	区 分	内 容	台 数																										
	西枇杷島分団	CD-I 型	3 台																										
	清洲分団	CD-I 型	3 台																										
新川分団	CD-I 型	3 台																											
	救助資機材搭載型小型ポンプ積載車	1 台																											
春日分団	CD-I 型	2 台																											
合 計		12 台																											
イ 支出科目																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">需用費</td> <td>消耗品費</td> <td>4,950 円</td> </tr> <tr> <td>軽油代</td> <td>118,131 円</td> </tr> <tr> <td>日常修繕、車検代及び法定点検代</td> <td>1,188,717 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>自賠責保険料及び損害賠償任意保険料</td> <td>295,630 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>救助資機材搭載型小型ポンプ積載車保守点検業務</td> <td>3,300 円</td> </tr> <tr> <td>公課費</td> <td>自動車重量税</td> <td>303,000 円</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	内 容	事業費	需用費	消耗品費	4,950 円	軽油代	118,131 円	日常修繕、車検代及び法定点検代	1,188,717 円	役務費	自賠責保険料及び損害賠償任意保険料	295,630 円	委託料	救助資機材搭載型小型ポンプ積載車保守点検業務	3,300 円	公課費	自動車重量税	303,000 円		
区 分	内 容	事業費																											
需用費	消耗品費	4,950 円																											
	軽油代	118,131 円																											
	日常修繕、車検代及び法定点検代	1,188,717 円																											
役務費	自賠責保険料及び損害賠償任意保険料	295,630 円																											
委託料	救助資機材搭載型小型ポンプ積載車保守点検業務	3,300 円																											
公課費	自動車重量税	303,000 円																											
3 事業成果																													
消防活動に必要な不可欠な消防車両を常時良好に維持することにより、火災発生時などの迅速な出動と円滑な活動を行うことができた。																													

科目	款	09 消防費		項	01 消防費		目	04 防災対策費		
	事業名	防災活動費（防災対策費）								
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳								
	9,587,020 円 (△6,378,906 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等			
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	9,587,020 円			
主管	市民一人当たりの決算額	139 円 (一般財源等ベース 139 円)			単位決算額					
危機管理課	1 事業目的 市民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、市の有する資機材の保守に努め、備蓄食料の購入を行う。									
	2 事業内容 災害発生時に迅速且つ円滑な対応を行うため、防災資機材などの維持管理及び備蓄食料の購入を行った。									
	(1) 主な支出科目									
	区 分		内 容				事業費			
	需用費		消耗品費（災害時備蓄食料・飲料水購入など）、印刷製本費、上下水道料金及び修繕料				5,542,749 円			
	役員費		通信運搬費、浄化槽清掃手数料、浄化槽法定検査手数料及び火災保険料				625,559 円			
	委託料		浄化槽保守点検業務、可搬式動力消防ポンプ保守点検業務、発電機保守点検業務など				1,626,760 円			
	使用料及び賃借料		すぐメールシステム使用料				792,000 円			
	負担金、補助及び交付金		水防管理団体連合会負担金、県防災ヘリコプター運営協議会負担金及び中越大地震ネットワークおぢや協議会負担金				998,352 円			
	3 事業成果 災害発生時に円滑に対応するため、市の有する資機材を良好に維持管理し、備蓄食料等を計画的に確保した。									

科目	款	09 消防費		項	01 消防費		目	04 防災対策費	
	事業名	防災訓練費（防災対策費）							
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳							
	83,500 円 (+13,981 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	83,500 円		
主管	市民一人当たりの決算額	1 円 (一般財源等ベース 1 円)		単位決算額					
危 機 管 理 課	1 事業目的 災害時の被害拡大を最小限にするため、関係機関等が一堂に会して実施する総合防災訓練を通じ、自助、共助及び公助の考えに基づき、それぞれが担うべき活動の研さん及び関係機関等との連携の構築を図る。								
	2 事業内容 災害時の初動活動を円滑に行うため、総合防災訓練を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止とした。								
	(1) 支出科目								
	区 分			内 容			事業費		
	役務費			防火防災訓練災害補償等共済制度掛金			67,000 円		
原材料費			土のう積訓練用砂			16,500 円			
3 事業成果 新型コロナウイルス感染拡大の影響により総合防災訓練は中止としたが、後日入庁3年目までの職員を対象に土のう作り訓練を実施し、防災活動に必要な技術的訓練を行うことができた。									

科目	款	09 消防費		項	01 消防費		目	04 防災対策費						
	事業名	地域防災リーダー養成費（防災対策費）												
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳												
	11,256 円 (皆増)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等							
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	11,256 円							
主管	市民一人当たりの決算額	0 円 (一般財源等ベース 0 円)		単位決算額										
危機 管理 課	1 事業目的 地域防災リーダー養成講座及びフォローアップ講座を開催し、災害発生時に避難所運営等においてリーダーシップを発揮することができる人材を育成する。													
	2 事業内容 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地域防災リーダー養成講座及びフォローアップ講座を中止とした。													
	(1) 支出科目													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役務費</td> <td>郵送費</td> <td>11,256 円</td> </tr> </tbody> </table>			区 分	内 容	事業費	役務費	郵送費	11,256 円					
区 分	内 容	事業費												
役務費	郵送費	11,256 円												
3 事業成果 地域防災リーダー養成講座及びフォローアップ講座を開催するため、担当講師と講義等の内容について打ち合わせを行い準備をしていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により講座は中止となった。														

科目	款	09 消防費		項	01 消防費		目	04 防災対策費	
	事業名	自主防災活動支援補助金（防災対策費）							
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳							
	5,295,324 円 (△32,108 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	5,295,324 円		
主管	市民一人当たり の決算額	77 円 (一般財源等ベース 77 円)		単位決算額	101,833 円 (補助件数 52 件)				
危 機 管 理 課	1 事業目的 自主防災組織の防災資機材購入などに対して補助金を交付し、地域住民が自主的に設立した防災組織の育成を図る。								
	2 事業内容								
	(1) 自主防災組織補助金 ブロック自主防災組織による、研修会開催などのソフト事業や防災資機材購入などのハード事業に対して補助金を交付した。								
	(2) 消火器の消火薬剤詰め替え費補助金 防火意識の高揚を図るため、消火器の消火薬剤の詰め替えに要する費用に対して補助金を交付した。								
(3) 主な支出科目									
		区 分	内 容	交付件数	事業費				
負担金、補助及び交付金			自主防災組織補助金	32 件	4,775,000 円				
			消火器の消火薬剤詰め替え費補助金	20 件	514,650 円				
3 事業成果 防災資機材購入事業（ハード事業）や自主防災組織活性化事業（ソフト事業）を通じ、自主防災組織の活動を支援することにより、地域防災力の向上に資することができた。									

科目	款	09 消防費		項	01 消防費		目	04 防災対策費						
	事業名	地域防災組織育成助成事業費補助金（防災対策費）												
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳												
	1,800,000円 (皆増)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等							
		0円	0円	0円	0円	1,800,000円	0円							
主管	市民一人当たりの決算額	26円 (一般財源等ベース 0円)		単位決算額	1,800,000円 (ブロック数 1ブロック)									
危 機 管 理 課	1 事業目的 地域防災活動の中心となる自主防災組織が、防災・減災活動を行うために整備する資機材などに対し、補助金を交付する。これにより、自主防災組織の育成及び防災・減災活動を支援する。													
	2 事業内容 自主防災組織が活動を行うため、ブロック単位で設置・管理する防災用資機材の購入費用の一部を補助した。													
	(1) 支出科目													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>防災資機材等整備（AED、災害用移動式炊飯器、防災用倉庫など） ＜清洲第1ブロック自主防災会＞</td> <td>1,800,000円</td> </tr> </tbody> </table>			区 分	内 容	事業費	負担金、補助及び交付金	防災資機材等整備（AED、災害用移動式炊飯器、防災用倉庫など） ＜清洲第1ブロック自主防災会＞	1,800,000円					
区 分	内 容	事業費												
負担金、補助及び交付金	防災資機材等整備（AED、災害用移動式炊飯器、防災用倉庫など） ＜清洲第1ブロック自主防災会＞	1,800,000円												
3 事業成果 防災用資機材購入の支援を通じ、ブロック単位での自主防災活動の活性化を図り、地域防災力の向上に寄与することができた。														

科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 防災対策費	
	事業名	防災行政無線費					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	23,476,595 円 (+2,084,965 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	23,476,595 円
主管	市民一人当たりの決算額	340 円 (一般財源等ベース 340 円)		単位決算額	87,599 円 (無線機 268 台)		
危 機 管 理 課	1 事業目的 防災行政の生命線とされる防災行政無線設備を常時良好な状態に維持・管理し、災害時の諸活動における連絡体制を確立させ、市民生活の安全と安心を確保する。						
	2 事業内容						
	(1) 防災行政無線管理費 防災行政無線が常に不具合なく使用できるよう管理した。						
	ア 防災行政無線の設置状況						
			同報系		移動系		
			親局、屋外拡声子局 (110 基)		親局、半固定型 (58 基)、車載携帯型 (28 基) 及び携帯型 (70 基)		
	イ 支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	需用費		電波法令集、電気代及び修繕料 (屋外子局蓄電池交換 (同報系)、端末無線装置電池交換 (移動系) 等) など		8,978,509 円		
	役務費		電話回線使用料		437,574 円		
委託料		防災行政無線設備保守点検業務 (同報系、移動系等)、防災行政無線 (移動系) 再免許情報作成業務 など		11,884,030 円			
使用料及び賃借料		電波利用料		70,100 円			
負担金、補助及び交付金		県防災行政無線運営協議会分担金		2,106,382 円			
3 事業成果 電波法に定める管理状態を良好に維持することにより、無線使用環境を確保することができた。							

科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 防災対策費	
	事業名	新川ふれあい防災センター費					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	12,287,058 円 (+743,632 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0 円	1,201,200 円	0 円	0 円	202,866 円	10,882,992 円
主管	市民一人当たりの決算額	178 円 (一般財源等ベース 157 円)		単位決算額	8,445 円 (利用件数 1,455 件)		
危機 管理 課	1 事業目的 災害時の避難場所及びコミュニティ活動などを推進するため、施設の適切な管理、運営を行う。						
	2 事業内容						
	(1) 新川ふれあい防災センター管理費 新川ふれあい防災センターを良好に管理した。						
	ア 利用件数						
			区 分	延べ利用件数			
			集会室Ⅰ	364 件			
			集会室Ⅱ	408 件			
			和室	188 件			
			会議室	283 件			
			多目的広場	212 件			
		合 計	1,455 件				
イ 支出科目							
		区 分	内 容	事業費			
需用費		消耗品費		306,805 円			
		印刷製本費		38,800 円			
		光熱水費		1,800,836 円			
		修繕料		457,391 円			
役務費		通信運搬費及び火災保険料など		219,993 円			
委託料		清掃業務		1,823,303 円			
		警備業務		141,240 円			
		エレベーター及び消防用設備等の保守点検業務		1,470,040 円			
		施設管理業務		5,521,435 円			
使用料及び賃借料		NHK放送受信料及び清掃用具等借上料など		507,215 円			
3 事業成果 施設を適切に維持管理することにより、災害時における避難場所及び平常時における交流拠点としての機能を確保することができた。							

科目	款	09 消防費		項	01 消防費		目	04 防災対策費	
	事業名	庄内川水防センター費							
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳							
	4,085,874円 (+202,696円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
		0円	702,058円	0円	0円	640,353円	2,743,463円		
主管	市民一人当たりの決算額	(一般財源等ベース		59円 40円)	単位決算額	22,699円 (利用件数 180件)			
都 市 計 画 課	1 事業目的 災害時の避難場所及びコミュニティ活動などを推進するため、施設の適正な管理、運営を行う。								
	2 事業内容								
	(1) 庄内川水防センター管理費 庄内川水防センターを良好に管理、運営した。								
	ア 利用件数								
	区 分				利用件数				
	多目的会議室				180件				
	イ 支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	需用費	消耗品費				46,894円			
		光熱水費				1,863,494円			
修繕料				172,700円					
飼料費				18,959円					
役務費	通信運搬費				78,263円				
	し尿汲取手数料など				79,900円				
	火災保険料				12,247円				
委託料	施設管理委託				933,637円				
	非常用自家発電装置点検業務など				879,780円				
3 事業成果 施設を適正に維持管理することにより、災害時における防災活動拠点及び平常時における交流拠点としての機能を確保することができた。									

科目	款	09 消防費		項	01 消防費		目	04 防災対策費						
	事業名	(仮称) 五条川防災センター費												
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳												
	7,150,000 円 (皆 増)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等							
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	7,150,000 円							
主管	市民一人当たりの決算額	103 円 (一般財源等ベース 103 円)		単位決算額										
危 機 管 理 課	1 事業目的 市民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、指定避難所及び防災資機材等備蓄倉庫としての機能を有した施設を整備する。													
	2 事業内容													
	(1) (仮称) 五条川防災センター整備費 指定避難所及び防災資機材等備蓄倉庫としての機能を有した施設を整備するための基本設計を行った。													
	ア 支出科目													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>基本設計業務</td> <td>7,150,000 円</td> </tr> </tbody> </table>			区 分	内 容	事業費	委託料	基本設計業務	7,150,000 円					
区 分	内 容	事業費												
委託料	基本設計業務	7,150,000 円												
3 事業成果 (仮称) 五条川防災センターにおける指定避難所及び防災資機材等備蓄倉庫の機能を有した施設というコンセプトを踏まえ、構造、レイアウト及び設備などの概要をとりまとめ、実施設計に向けた基盤を構築した。														